

JICA 開発大学院連携プログラム（各大学におけるプログラム）概要

大学名	北海道大学
研究科名	大学院国際感染症学院
研究科の特色	<p>大学院国際感染症学院</p> <p>https://www.infectdis.hokudai.ac.jp/</p> <p>One Health フロンティア卓越大学院プログラム</p> <p>https://onehealth.vetmed.hokudai.ac.jp/</p>
プログラム概要	<p>本プログラムは、北海道大学大学院国際感染症学院における対象学生が「人獣共通感染症対策専門特論」を履修することによって、世界各地、とりわけアジアやアフリカで問題となっている人獣共通感染症に対する知識や診断の基礎を学び、さらに、発生予測とリスク評価、予防対策の立案・実施ができる能力を養うことを目的とする。</p> <p>人獣共通感染症の疫学、伝播経路や持続様式、発生状況と予防手段を理解し、予防対策立案に必要な基礎知識および技能を習得することで、将来的には人獣共通感染症対策の専門家として途上国の感染症発生現場での中心的人材に育つことを期待している。</p>
「日本の開発経験に関する講義」の概要	<p>受講者の包括的な理解度および技術を高めるため、全体講義（総論・特論）、チュートリアル、実習を行う。</p> <p>「総論」</p> <p>疫学の一般的基礎および感染症疫学、宿主における防御機構および免疫賦活、ワクチン学、抗原および抗体検査に関する概論、医療昆虫学等</p> <p>「特論」</p> <p>それぞれの疾病に関し、担当教員の現地における開発援助や研究活動で収集した情報を基に講義を行う。エボラウイルス感染症、炭疽、インフルエンザ、結核、薬剤耐性菌、プリオン病、狂犬病、フラビウイルス感染症、有鉤条虫症・多包条虫症、レプトスピラ、ウイルス性出血熱、トキソプラズマ症、リーシュマニア症、ブルセラ病、トリパノソーマ症</p> <p>「チュートリアル」</p> <p>イベントベースサーベイランス、緊急時対応としてのリスク評価、アフリカにおけるHIV制御プロジェクト</p> <p>「実習」</p> <p>BSL3施設の管理、遺伝子分析のためのバイオインフォマティクスツール、多重抗原検出、インフルエンザウイルス感染の免疫組織化学的診断、インフルエンザウイルスの性状解析、LAMP法、マウス接種によるウイルス分離</p> <p>「その他」</p> <p>バイオセーフティに関する概論、WHO・OIE等の国際機関の概要とその役割</p>

関連 URL	北海道大学シラバス検索 http://educate.academic.hokudai.ac.jp/syllabus/SYLLABUS.htm
プログラムの魅力紹介	受講生の声 Chayada PIANTHAM さん（タイ）  「母国タイのカセサート大学在籍時に参加した北大獣医学部との交換留学がきっかけで、現在の学院に入学しました。現在は、One Health という新しい概念と必要な技術について基礎から学んでいます。学生主催の学術行事の企画運営を通してコミュニケーションスキルも高まりますし、3年次には海外研修やインターンシップを通して現場を経験出来るのが楽しみです。」